

第六次多賀城市総合計画 実施計画

(令和4年度～令和6年度)

令和4年2月

多 賀 城 市

目 次

1	実施計画の概要	1
2	実施計画書(事務事業評価表)の見方	2
3	実施計画事業一覧	3

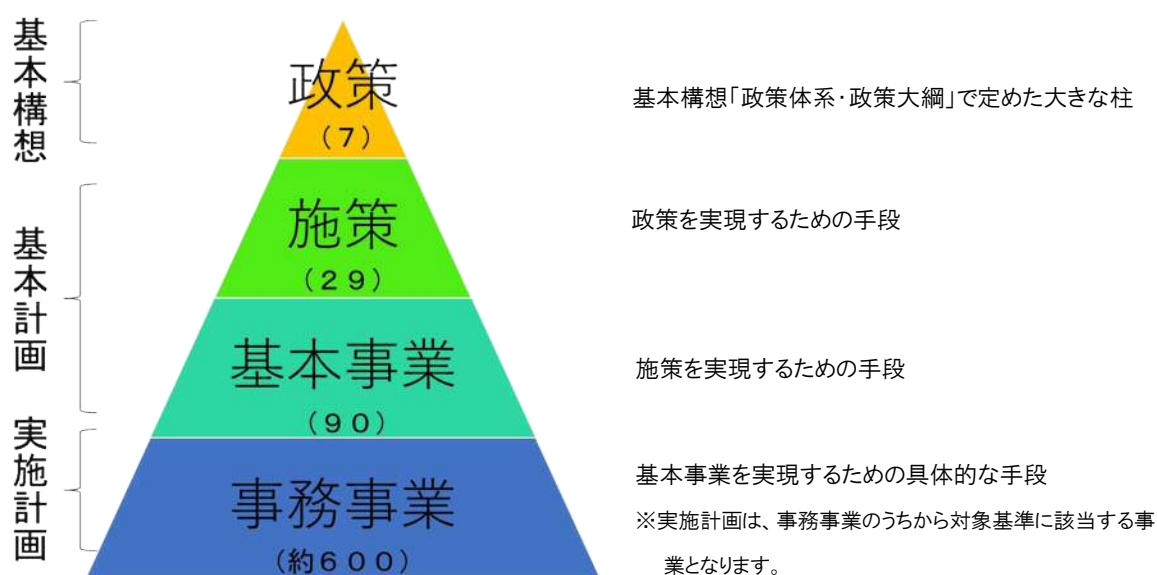
政策3 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり(教育文化)

1 実施計画の概要

(1) 実施計画の定義

第六次多賀城市総合計画実施計画(以下「実施計画」と表記します。)は、令和12年度を目標年度とする第六次多賀城市総合計画に掲げる施策及び基本事業の目標を実現するため、計画的に取り組む主要な事務事業を明らかにするもので、毎年度の予算編成や当面の行財政運営の指針とするものです。

【第六次多賀城市総合計画の構成】



(2) 実施計画の期間

実施計画の期間は、令和4年度から令和6年度までの3年間とします。ただし、社会情勢の変化が著しいことから、毎年度見直すこととします。

(3) 実施計画の対象事業

実施計画に掲げる事務事業は、全事務事業の中から、次のいずれかの基準に該当するものを対象とします。

- ア 重点テーマに大きく寄与する政策的な事務事業
- イ 普通建設事業（国、県、市事業の負担金などを含みます。）
- ウ 公共施設の長寿命化対策等に資する事務事業

(4) 実施計画事業の追加

補正予算においても実施計画対象基準に該当する事業が計上されることから、実施計画事業を追加しています。実施計画事業の評価は、決算報告の際に提出する主要な施策の成果に関する報告書に掲載しています。

2 実施計画書（事務事業評価表）の見方

●**開始年度・終了年度**…年度が決まっている場合に記載しています。

●**実施計画・重点テーマ・総合戦略**…該当する事業に「○」を付しています。

●**担当**…令和4年度担当部署を記載しています。

事務事業名

開始年度 R4 終了年度

実施計画 ○ 重点テーマ ○ 総合戦略 ○

担当部 担当課 担当係

●**会計**…一般会計、特別会計、事業会計の区分を記載しています。

●**款項目**…支出科目を記載しています。

●**政策・施策・基本事業**…第六次多賀城市総合計画前期基本計画における位置付けを記載しています。

事務事業の開始背景（根拠）、概要	事務事業の全体計画
●開始背景（根拠）、概要…複数の予算科目を合算している事務事業については、【この事務事業は○○と○○を合わせた事業です。】と記載しています。	●全体計画…事務事業のこれまでの主な経過、全体計画（決定している場合）を記載しています。
対象（誰、何に対して働き掛けるのか） ●対象…事務事業を通して市が働きかける又は恩恵を受ける人や団体、場所などを記載しています。	手段（04年度の取り組み） ●手段…この事務事業において、当該年度に行う取り組みを記載しています。また、事業の特定財源（補助制度等）を活用した場合は、【○○補助金 国○/○】というように、参考として記載しています。繰越事業については、その旨を記載しています。
意図（対象をどのような状態にしたいのか） ●意図…事務事業を行うことにより、「対象」をどのような状態にしたいのかを記載しています。	

○指標、事業費の推移

区分		指標名	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
				実績	現計	計画	計画	計画
対象指標	A	●対象指標…対象の規模を示すものさしです。 ●活動指標…事務事業の目的を達成するために、「市が何をどれだけ行ったか」を測るためのものさしです。						
	B							
活動指標	C	●事業費…コスト推移の目安として、事業費及び財源内訳を千円単位で記載しています。「その他」には、繰越や使用料など他の欄に該当しない財源をまとめています。						
	D							
	E							
	F							
付記事項			事業費	＜以下は実績値を反映する欄です。＞ ●人工数…実績値のみ記載となります。 ●トータルコスト…直接事業費に、正職員人件費「正職員人工数×平均人件費（給与費に保険等の事業主負担分を含めた1人当たり平均雇用コスト800万円）」を加えたコストです。実績値のみ、人件費を含めた記載となります。				
●付記事項…補足説明などを記載しています。		合計						
		国支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源						
		正職員人工数						
		正職員人件費						
		トータルコスト	千円					

3 実施計画事業一覧

本計画書に掲載している実施計画事業（57事業）の一覧です。

なお、目的や手段、成果を評価・検証する上で、複数の予算事業を統合している場合があるため、予算の事業単位とは一致しない場合があります。

【政策3】 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり（教育文化）

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当	会計	款	項	目	R4年度 予算額 (単位：千円)	重点 テーマ
03	01	01	地域とともにある学校づくり事業（地域学校協働活動事業）	生涯学習課	一般	10	04	02	7,594	○
03	02	02	たがじょう心のケア教育相談事業	教育総務課	一般	10	01	02	23,370	○
03	02	03	学校給食センター運営事業	学校給食センター	一般	10	05	02	33,969	
03	02	04	小中学校通学区域適正化事業	教育総務課	一般	10	01	02	1,016	○
03	02	04	小学校学校施設維持管理事業	教育総務課	一般	10	02	01	219,161	○
03	02	04	中学校学校施設維持管理事業	教育総務課	一般	10	03	01	235,247	○
03	02	04	学校ICT整備事業〔小学校〕	教育総務課	一般	10	02	02	139,987	○
03	02	04	学校ICT整備事業〔中学校〕	教育総務課	一般	10	03	02	74,910	○
03	02	04	地域とともにある学校づくり事業（コミュニティ・スクール事業）	教育総務課	一般	10	01	02	2,627	○
03	03	01	生涯学習活動費補助事業	生涯学習課	一般	10	04	02	4,000	○
03	03	03	文化センター改修事業	生涯学習課	一般	10	04	02	1,681,672	○
03	03	03	市立図書館管理運営事業	生涯学習課	一般	10	04	02	316,777	○
03	05	02	特別史跡多賀城跡復元整備事業	文化財課	一般	10	04	04	178,556	○
03	05	03	歴史遺産保全・発信事業	歴史文化財調査センター	一般	10	04	06	4,045	○
03	05	99	特別史跡多賀城跡附寺跡保存活用計画策定事業	文化財課	一般	10	04	04	544	○

実計 15 事業

2,923,475 千円

政 策 3

夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり（教育文化）

【施策】

- 3-1 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上
- 3-2 学校教育の充実
- 3-3 生涯学習の促進
- 3-4 市民スポーツ社会の促進
- 3-5 文化財の保護と活用

政 策 1

みんなの力で減災 安全で安心 に暮らせるまちづくり（安全安心）

【施策】

- 1-1 防災・減災対策の推進
- 1-2 防犯対策の推進
- 1-3 安全な消費生活の確保
- 1-4 交通安全対策の推進

政 策 5

地域の資源と知恵をいかす 活 気あふれるまちづくり（産業活気）

【施策】

- 5-1 農業の振興
- 5-2 商工業の振興
- 5-3 地域資源を活用した賑わいの
創出

政 策 2

健やかで優しい 支え合いのある まちづくり（健康福祉）

【施策】

- 2-1 地域福祉の推進
- 2-2 健康づくりの促進
- 2-3 子育て支援の充実
- 2-4 高齢者福祉の推進
- 2-5 障害者（児）福祉の推進
- 2-6 社会保障等の充実

政 策 6

地域の未来を共に創る 絆と誇り を築くまちづくり（地域創生）

【施策】

- 6-1 地域経営の振興
- 6-2 多様な主体との連携・協働に
よるまちづくりの推進
- 6-3 地域資源を活用した市民文化
の創造

政 策 4

都市と自然の環境調和 快適で 潤いのあるまちづくり（生活環境）

【施策】

- 4-1 自然と生活環境の調和
- 4-2 循環型社会の促進
- 4-3 良好なまちなみの保全
- 4-4 都市インフラの保全

政 策 7

縮減社会への対応 持続可能な 行財政経営（行財政経営）

【施策】

- 7-1 適正な事務の執行と行政サー
ビスの提供
- 7-2 組織・人事マネジメントの推
進
- 7-3 健全な企業経営の推進
- 7-4 環境変化に対応した行財政経
営の推進

地域とともにある学校づくり事業（地域学校協働活動事業）

担当部 教育委員会事務局
担当課 生涯学習課
担当係 社会教育係
総合戦略

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○

会計	01 一般会計	政 策	03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり
款	10 教育費	施 策	01 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上
項	04 社会教育費	基本事業	01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進
目	02 社会教育振興費		

事務事業の開始背景（根拠）、概要	事務事業の全体計画
子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、健やかな成長のためには、学校、家庭及び地域が役割と責任を自覚し、地域全体で教育に取り組む必要があります。そのため、学校・家庭・地域の連携・協働活動のより一層の充実を図るための体制を整備し、地域全体で子どもたちの成長を支えるとともに、地域住民の交流を通じて、地域の教育力向上と活性化を図ります。	平成20年度 家庭教育事業（子育て講座等）、放課後子ども教室推進事業開始 平成22年度 学校支援地域本部事業を開始 平成28年度 学校支援地域本部事業及び放課後子ども教室推進事業を市内全区に拡大完了、地域教育力向上事業（防災キャンプ）開始 令和4年度 学校支援地域本部の体制を基盤として地域学校協働本部へ発展
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（04年度の取り組み）
地域住民、子ども、その保護者	・地域学校協働本部の設置（地域学校協働活動推進員の設置） ・学校支援活動（市内全中学校区での学習補助、学校行事等への支援活動）の実施 ・放課後子ども教室（全小学校での放課後の安全・安心な環境のもとでの様々な体験活動）の実施 ・家庭教育支援活動（子育て講座等）の実施 ・地域教育力向上（防災キャンプ等）の実施
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
学校・家庭・地域の連携・協働した取組が実施されることにより、児童・生徒の学校の授業だけでは得られない知識・経験・能力が向上するとともに、学校を核として地域全体の教育力向上及び地域の活性化が図られ、人と人、人とまちとがつながり、次代を担う子どもたちが健やかに成長することができています。	【子供への学習支援によるコミュニティ復興支援事業費補助金 県10/10】 【宮城県学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金 県2/3】 【東日本大震災復興基金繰入金】

○指標、事業費の推移

区分	指標名		単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
				実績	現計	計画	計画	計画
対象指標	A	児童・生徒数(5月1日現在)(共通指標)	人	4,968	4,964	4,944	5,023	5,029
	B	多賀城市人口(共通指標)	人	62,154	—	—	—	—
活動指標	C	地域学校協働活動実施回数	回		560	560	560	560
	D							
	E							
	F							
付記事項			合計	千円	6,479	7,594	7,594	7,594
			国支出金	千円				
			県支出金	千円	6,173	6,906	6,906	1,760
			地方債	千円				
			その他	千円	117	114		
			一般財源	千円	189	574	688	5,834
			正職員人工数	人工				
			正職員人件費	千円				
			トータルコスト	千円	6,479	7,594	7,594	7,594

たがじょう心のケア教育相談事業

担当部 教育委員会事務局
 担当課 教育総務課
 担当係 学校教育係
 総合戦略

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○

会計	01 一般会計	政策	03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり
款	10 教育費	施策	02 学校教育の充実
項目	01 教育総務費	基本事業	02 豊かな心の育成
	02 事務局費		

事務事業の開始背景（根拠）、概要	事務事業の全体計画
児童・生徒の悩みや不安、ストレスなどを受けとめ包括的に対応するため、子どもの心のケアハウスを中心とした支援ネットワークを構築し、ケアハウス支援員、スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーによる相談支援を行います。	平成 9年度 スクールカウンセラー導入 平成10年度 心の教室相談員導入 平成22年度 スクールソーシャルワーカー導入 平成29年度 子どもの心のケアハウス設置(心の教室相談員をケアハウス支援員に変更) 令和4年度 子どもの心のケアハウスの運営を委託
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（04年度の取り組み）
市内小中学校に在籍する児童・生徒、その保護者、教職員、次年度就学予定児童等	・問題を抱える児童・生徒への相談支援 ・学校内におけるチーム体制の構築、支援 ・学び支援教室等校内支援教室の運営支援 ・保護者、教職員等に対する支援、相談、情報提供 ・子どもの心のケアハウス運営業務の委託移行 ・アウトリーチ支援の強化 ・関係機関等とのネットワークの構築、連携、調整
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
児童・生徒に関する相談を受けることができる体制が構築され、子どもたちやその家庭が抱える問題・課題の早期発見・早期対応・適切な支援が行われることにより、次代を担う子どもたちが、地域社会で豊かに生きるための学びを得て、夢や希望を持つことができます。	【みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業費補助金 県】【県スクールソーシャルワーカー活用事業委託金 県10/10】【不登校等児童生徒学び支援教室充実事業補助金 県1/2】

○指標、事業費の推移

区分		指標名	単位	02年度 実績	03年度 現計	04年度 計画	05年度 計画	06年度 計画
対象 指標	A	児童・生徒数(5月1日現在)(共通指標)	人	4,968	4,964	4,944	5,023	5,029
	B							
活動 指標	C	延べ通所児童・生徒数	人		70	120	120	120
	D	延べ相談件数	件		1,000	1,000	1,000	1,000
	E	アウトリーチ支援回数(令和4年度から)	回		—	36	36	36
	F							
付記事項		合計	千円		18,541	23,370	23,370	23,370
		国支出金	千円					
		県支出金	千円		14,117	12,505	11,505	5,305
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円		4,424	10,865	11,865	18,065
		正職員人工数	人工					
		正職員人件費	千円					
		トータルコスト	千円		18,541	23,370	23,370	23,370

学校給食センター運営事業

担当部 教育委員会事務局
担当課 学校給食センター
担当係 学校給食センター
総合戦略

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ

会計	01 一般会計	政 策	03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり
款	10 教育費	策	02 学校教育の充実
項	05 保健体育費	策	03 健やかな体の育成
目	02 学校給食管理費	基本事業	

事務事業の開始背景（根拠）、概要	事務事業の全体計画
学校給食法(法律第160号)第4条により、義務教育諸学校の設置者の任務により学校給食を実施します。学校給食センターは、学校給食を安定的に提供するため、平成14年度に建て替えられ開設しました。学校給食センターの機械設備、電気設備、給排水衛生設備、厨房設備等を、「設備等更新計画」に基づき、設備等の更新、設備・器具等の健全化を行いながら、適正な状態に維持管理します。	平成25年度 設備・器具等の維持管理を適切に行い、設備等の機能を維持するため「設備等更新計画」策定 平成28年度 「設備等更新計画」見直し 毎年度保守点検の状況に応じて、随時計画見直しを実施
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（04年度の取り組み）
市立学校の児童・生徒及び保護者	・教育委員会の諮問に応じ給食センターの運営に関する重要事項について調査審議するため給食センター運営審議会を開催 ・市立学校と共通認識を図り、連携しながら適切に給食を提供するため、学校給食主任者会を開催 ・施設、設備の適正な維持管理を実施 ・給食調理の設備・器具等は、調理業務受託者の日常点検と専門業者に保守点検を委託し、設備・器具等の不具合・故障の早期発見に努め、速やかに修繕を実施 ・平成28年度に改定した「設備等更新計画」に基づく設備等の修繕・更新を実施
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
学校給食に係る施設・設備が維持管理されることによって、安心・安全な給食が提供されています。	

○指標、事業費の推移

区分		指標名	単位	02年度 実績	03年度 現計	04年度 計画	05年度 計画	06年度 計画
対象 指標	A	児童・生徒数(5月1日現在)(共通指標)	人	4,968	4,964	4,944	5,023	5,029
	B	設備、器具等	式		1	1	1	1
活動 指標	C	運営審議会の開催回数	回		2	2	2	2
	D	市内小中学校給食主任者会の開催回数	回		2	2	2	2
	E	施設設備等の保守点検業務委託件数	件		12	12	12	12
	F	設備器具等の修繕件数	件		70	70	70	70
付記事項			合計	千円	41,681	33,969	57,866	57,866
			国支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	41,681	33,969	57,866	57,866
			正職員人工数	人工				
			正職員人件費	千円				
			トータルコスト	千円	41,681	33,969	57,866	57,866

小中学校通学区域適正化事業

担当部 教育委員会事務局
担当課 教育総務課
担当係 学校教育係
総合戦略

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○

会計	01 一般会計	政策	03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり
款	10 教育費	策	02 学校教育の充実
項	01 教育総務費	基本事業	04 教育環境の保全と運営
目	02 事務局費		

事務事業の開始背景（根拠）、概要	事務事業の全体計画
周辺環境の変化に応じた適切な通学距離と安全確保を念頭に、通学区域の再編について、調査・研究を進めています。	平成25年度 学区検討会議の開催(4回。再編不要の決定) 平成29年度 人口流動及び土地利用状況調査、意見交換会の開催(1回。再編不要の決定) 令和3年度 人口流動及び土地利用状況調査、庁内検討会議の開催 令和4年度 小中学校区検討会議の開催
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（04年度の取り組み）
市立小中学校に通う児童・生徒、次年度就学を予定している児童、その保護者	- アンケートの実施及び地域等との情報共有 - 小中学校区検討会議(学識経験者、地域代表者、学校代表者及び保護者代表者等)を設置し、開催 - 通学区域適正化の方針を決定
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
通学時における適正な通学距離と安全が確保されることにより、子どもたちが安心して自らの意思での学ぶことのできる環境が保たれ、心豊かに学び、育つことができます。	

○指標、事業費の推移

区分		指標名	単位	02年度 実績	03年度 現計	04年度 計画	05年度 計画	06年度 計画
対象 指標	A	児童・生徒数(5月1日現在)(共通指標)	人	4,968	4,964	4,944	5,023	5,029
	B	新小学校1年生の児童の数(5月1日現在)	人		579	553	586	526
活動 指標	C	庁内関係課との協議回数	回		3	2		
	D	小中学校区検討会議の実施回数	回		—	5		
	E							
	F							
付記事項			合計	千円	0	1,016		
			国支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	0	1,016		
			正職員人工数	人工				
			正職員人件費	千円				
			トータルコスト	千円	0	1,016		

小学校学校施設維持管理事業

担当部 教育委員会事務局
 担当課 教育総務課
 担当係 教育総務係
 総合戦略

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○

会計 01 一般会計
 款 10 教育費
 項 02 小学校費
 目 01 学校管理費

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり
 策 02 学校教育の充実
 基本事業 04 教育環境の保全と運営

事務事業の開始背景（根拠）、概要	事務事業の全体計画
【この事務事業は、学校施設維持管理事業〔小学校〕と学校施設維持管理事業〔各小学校6校〕を合わせた事業です】 小学校の設置者である市は、校舎等の施設整備等を実施し、教育環境の充実に努めなければなりません。	児童が、快適に学習できるよう環境維持を図ります。
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（04年度の取り組み）
市内小学校の学校施設、児童、教職員	・学校施設の適切な維持管理のため、施設修繕、各種保守点検、機械警備、除草業務等を実施 ・経年劣化した受電設備、受水槽、消防設備、体育館屋根、暗幕等の修繕及び樹木の伐採・剪定を実施
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
児童の教育環境を適切に維持管理することにより、子どもたちが安心して楽しく、快適に学ぶことのできる環境が保たれ、心豊かに学び、育つことができます。	【みやぎ環境交付金 県】【ふるさと多賀城応援基金繰入金】【学校排出古紙売払金】【公衆電話料】 【学校開放に伴う施設設備維持徴収金】

○指標、事業費の推移

区分		指標名	単位	02年度 実績	03年度 現計	04年度 計画	05年度 計画	06年度 計画
対象 指標	A	小学校数	校		6	6	6	6
	B	児童数(5月1日現在)(共通指標)	人	3,325	3,338	3,394	3,403	3,344
活動 指標	C	施設修繕件数	件		3	17	5	5
	D	保守点検委託件数	件		7	7	7	7
	E	業務委託件数	件		19	20	20	20
	F							
付記事項		合計	千円		185,871	219,161	180,000	180,000
		国支出金	千円		1,900			
		県支出金	千円			353		
		地方債	千円					
		その他	千円		10,588	60,668	776	776
		一般財源	千円		173,383	158,140	179,224	179,224
		正職員人工数	人工					
		正職員人件費	千円					
		トータルコスト	千円		185,871	219,161	180,000	180,000

中学校学校施設維持管理事業

担当部 教育委員会事務局
担当課 教育総務課
担当係 教育総務係
総合戦略

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○

会計 01 一般会計
款 10 教育費
項 03 中学校費
目 01 学校管理費

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり
施策 02 学校教育の充実
基本事業 04 教育環境の保全と運営

事務事業の開始背景（根拠）、概要	事務事業の全体計画
【この事務事業は、学校施設維持管理事業〔中学校〕と学校施設維持管理事業〔各中学校4校〕を合わせた事業です】 中学校の設置者である市は、校舎等の施設整備等を実施し、教育環境の充実に努めなければなりません。	生徒が、快適に学習できるよう環境維持を図ります。
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（04年度の取り組み）
市内中学校の学校施設、生徒、教職員	・学校施設の適切な維持管理のため、施設修繕、各種保守点検、機械警備、除草業務等を実施 ・経年劣化した受電設備、受水槽、消防設備、体育館屋根、暗幕等の修繕及び樹木の伐採・剪定を実施 【ふるさと多賀城応援基金繰入金】【学校排出古紙売払金】【公衆電話料】【学校開放に伴う施設設備維持徴収金】【電気等使用者実費徴収金】
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
生徒の教育環境を適切に維持管理することにより、子どもたちが安心して楽しく、快適に学ぶことができる環境が保たれ、心豊かに学び、育つことができます。	令和3年度繰越事業 ・多賀城中学校消火ポンプ交換工事

○指標、事業費の推移

区分		指標名	単位	02年度 実績	03年度 現計	04年度 計画	05年度 計画	06年度 計画
対象 指標	A	中学校数	校		4	4	4	4
	B	生徒数(5月1日現在)(共通指標)	人	1,643	1,626	1,550	1,620	1,685
活動 指標	C	施設修繕件数	件		5	18	5	5
	D	保守点検委託件数	件		6	6	6	6
	E	業務委託件数	件		17	19	19	19
	F							
付記事項			合計	千円	127,831	235,247	120,000	120,000
			国支出金	千円	3,100			
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円	917	127,781	917	917
			一般財源	千円	123,814	107,466	119,083	119,083
			正職員人工数	人工				
			正職員人件費	千円				
			トータルコスト	千円	127,831	235,247	120,000	120,000

学校 I C T 整備事業 [小学校]

担当部 教育委員会事務局
 担当課 教育総務課
 担当係 教育総務係
 総合戦略

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○

会計 01 一般会計
 款 10 教育費
 項 02 小学校費
 目 02 教育振興費

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり
 策 02 学校教育の充実
 策 04 教育環境の保全と運営

事務事業の開始背景（根拠）、概要	事務事業の全体計画
教育の情報化を推進するため、政府において平成31年度に「GIGAスクール構想」に基づく学校のICT環境整備の推進、教員のICT活用指導力の向上等に取り組んでいます。 児童が情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」を身につけ、更なる学力向上につなげます。	平成27～30年度 校務支援システム・PC各校順次導入 平成31年度 文部科学省「GIGAスクール構想」開始 令和2年度 GIGAスクール構想に基づく児童生徒用端末及びICT機器の整備、校内無線LANネットワーク導入 令和3年度 生徒用端末、校内無線LAN本格運用 令和4年度 タブレット用印刷機の導入、校外学習用Wi-Fiルーターの整備
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（04年度の取り組み）
小学校、児童	・教育クラウドアプリケーション:学習での活用 ・Wi-Fi環境:安定した通信環境とセキュリティ確保のための適正な保守管理、校外学習用Wi-Fiルーターの整備 ・端末(児童、教職員用):学習での活用、適正な保守管理、周辺機器(印刷機等)の整備 ・ソフトウェア:アプリケーションの教職員研修、プログラミング教育の研修、デジタル教科書の継続活用
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
ICTを活用して、児童が情報社会に主体的に取り組む教育環境が整うことにより、子どもたちが、地域社会で豊かに生きるための学びを得て、夢や希望を持つことができます。	

○指標、事業費の推移

区分		指標名	単位	02年度 実績	03年度 現計	04年度 計画	05年度 計画	06年度 計画
対象 指標	A	小学校数	校		6	6	6	6
	B	児童数(5月1日現在)(共通指標)	人	3,325	3,338	3,394	3,403	3,344
活動 指標	C	授業及び学校生活に支障を来した不具合件数	件		0	0	0	0
	D	教育用パソコン配備台数	台		3,660	3,660	3,660	3,660
	E							
	F							
付記事項		合計	千円		119,560	139,987	140,000	140,000
		国支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円		119,560	139,987	140,000	140,000
		正職員人工数	人工					
		正職員人件費	千円					
		トータルコスト	千円		119,560	139,987	140,000	140,000

学校 I C T 整備事業 [中学校]

担当部 教育委員会事務局
 担当課 教育総務課
 担当係 教育総務係
 総合戦略

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○

会計 01 一般会計
 款 10 教育費
 項 03 中学校費
 目 02 教育振興費

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり
 策 02 学校教育の充実
 策 04 教育環境の保全と運営
 基本事業

事務事業の開始背景（根拠）、概要	事務事業の全体計画
教育の情報化を推進するため、政府において平成31年度に「GIGAスクール構想」に基づく学校のICT環境整備の推進、教員のICT活用指導力の向上等に取り組んでいます。 生徒が情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」を身につけ、更なる学力向上につなげます。	平成27～30年度 校務支援システム・PC各校順次導入 平成31年度 文部科学省「GIGAスクール構想」開始 令和2年度 GIGAスクール構想に基づく児童生徒用端末及びICT機器の整備、校内無線LANネットワーク導入 令和3年度 生徒用端末、校内無線LAN本格運用 令和4年度 タブレット用印刷機の導入、校外学習用Wi-Fiルーターの整備
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（04年度の取り組み）
中学校、生徒	・教育クラウドアプリケーション:学習での活用 ・Wi-Fi環境:安定した通信環境とセキュリティ確保のための適正な保守管理、校外学習用Wi-Fiルーターの整備 ・端末(生徒、教職員用):学習での活用、適正な保守管理、周辺機器(印刷機等)の整備 ・ソフトウェア:アプリケーションの教職員研修、プログラミング教育の研修、デジタル教科書の継続活用
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
ICTを活用して、生徒が情報社会に主体的に取り組む教育環境が整うことにより、子どもたちが、地域社会で豊かに生きるための学びを得て、夢や希望を持つことができます。	

○指標、事業費の推移

区分	指標名		単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
				実績	現計	計画	計画	計画
対象指標	A	中学校数	校		4	4	4	4
	B	生徒数(5月1日現在)(共通指標)	人	1,643	1,626	1,550	1,620	1,685
活動指標	C	授業及び学校生活に支障を来した不具合件数	件		0	0	0	0
	D	教育用パソコン配備台数	台		1,821	1,821	1,821	1,821
	E							
	F							
付記事項			合計	千円	59,003	74,910	75,000	75,000
			国支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	59,003	74,910	75,000	75,000
			正職員人工数	人工				
			正職員人件費	千円				
			トータルコスト	千円	59,003	74,910	75,000	75,000

地域とともにある学校づくり事業（コミュニティ・スクール事業）

担当部 教育委員会事務局
担当課 教育総務課
担当係 学校教育係
総合戦略

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○

会計	01 一般会計	政 策	03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり
款	10 教育費	策	02 学校教育の充実
項	01 教育総務費	基本事業	04 教育環境の保全と運営
目	02 事務局費		

事務事業の開始背景（根拠）、概要	事務事業の全体計画
国は、平成29年度、それまでの「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への移行を提唱しました。また、保護者や地域住民が学校運営に参画する仕組みである学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置が努力義務化されました。学校運営協議会を設置し、地域と学校が連携・協働し、地域住民等の参画により地域全体で子どもたちを支える仕組みづくりを行います。	令和3年度 関係者の研修、協議、検討 令和4年度 先進校による学校運営協議会準備会の設置 令和5年度 全小中学校における学校運営協議会の設置
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（04年度の取り組み）
市民、児童・生徒、教職員、地域ぐるみ生徒指導委員会、学校評議員、地域関係団体	・先進校（多賀城八幡小学校、多賀城中学校）を中心とした研修及びワークショップの実施 ・先進校に学校運営協議会準備会の設置 ・先進校の取組発信及び普及啓発 ・本市の特色を反映したコミュニティ・スクールのあり方を検証・研究 ・児童・生徒の自主学習を支援する取組（多賀城スコーレ。夏季及び冬季実施）など地域との連携による学校運営の取組の実施
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
学校運営に保護者や地域住民が参画し、地域と一体となった特色ある学校づくりが行われることにより、みんなの力で、次代を担う子どもたちが成長し、人と人、人とまちとがつながることができています。	【宮城県学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金 県10/10】 【子供への学習支援によるコミュニティ復興支援事業費補助金 県2/3】

○指標、事業費の推移

区分		指標名	単位	02年度 実績	03年度 現計	04年度 計画	05年度 計画	06年度 計画
対象 指標	A	多賀城市人口（共通指標）	人	62,154	—	—	—	—
	B	児童・生徒数（5月1日現在）（共通指標）	人	4,968	4,964	4,944	5,023	5,029
活動 指標	C	研修会、ワークショップ等実施回数	回		3	10	16	1
	D	学校運営協議会（準備会）開催回数	回		—	6	30	30
	E							
	F							
付記事項			合計	千円	587	2,627	3,860	3,860
			国支出金	千円				
			県支出金	千円	321	478	533	533
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	266	2,149	3,327	3,327
			正職員人工数	人工				
			正職員人件費	千円				
			トータルコスト	千円	587	2,627	3,860	3,860

生涯学習活動費補助事業

担当部 教育委員会事務局
担当課 生涯学習課
担当係 生涯学習係
総合戦略

開始年度 H05 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○

会計 01 一般会計
款 10 教育費
項 04 社会教育費
目 02 社会教育振興費

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり
施策 03 生涯学習の促進
基本事業 01 学びと発揮の機会の確保

事務事業の開始背景（根拠）、概要	事務事業の全体計画
市民又は市内の団体が自己の充実や生活の向上を図るため、各人の自発的意思に基づいて行う学習活動に要する経費を補助するための要綱を整備し、市民の生涯学習活動を支援します。 令和4年度から、教育総務課の「多賀城市立学校児童生徒大会参加支援事業補助金」と補助制度を統合し、子どもたちの学びや活動を重点的に支援していきます。	平成5年度 生涯学習活動費補助制度開始 令和4年度 多賀城市立学校児童生徒大会参加支援事業補助金と補助制度を統合。補助率と補助金限度額等の改正
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（04年度の取り組み）
市民、市内の各種団体	・講演会開催費や全国大会参加に係る旅費など生涯学習活動の実践に要する経費を補助するもの [補助対象事業] ①市民対象の講習会等事業、②国、県を代表して参加出場する事業（中学生以下の補助率、限度額を引き上げ、より子どもに重点化）、③青少年の団体が市外の者と交流する事業、④歴史文化の伝承事業、⑤国、県が主催・共催する事業、⑥その他市長が認めた生涯学習事業 ・教育総務課の大会参加支援事業と統合し、②に係る生涯学習補助金の補助率等を変更 【生涯学習推進基金繰入金】
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
生涯学習活動に係る経済的負担が軽減されることにより、生涯学習活動が活発化し、持てる力を発揮し、自分らしく輝ける機会が確保され、誰もがいきいきと夢と希望をもつことができます。	

○指標、事業費の推移

区分		指標名	単位	02年度 実績	03年度 現計	04年度 計画	05年度 計画	06年度 計画
対象 指標	A	多賀城市人口（共通指標）	人	62,154	—	—	—	—
	B							
活動 指標	C	補助金の交付件数	件		50	80	80	80
	D	補助金の交付額	千円		2,500	4,000	4,000	4,000
	E							
	F							
付記事項			合計	千円	2,500	4,000	4,000	4,000
			国支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円	2,500	4,000	4,000	4,000
			一般財源	千円				
			正職員人工数	人工				
			正職員人件費	千円				
			トータルコスト	千円	2,500	4,000	4,000	4,000

文化センター改修事業

担当部 教育委員会事務局
 担当課 生涯学習課
 担当係 生涯学習係
 総合戦略 ○

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○

会計	01 一般会計	政策	03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり
款	10 教育費	施策	03 生涯学習の促進
項目	04 社会教育費	基本事業	03 生涯学習施設の保全と運営
	02 社会教育振興費		

事務事業の開始背景（根拠）、概要	事務事業の全体計画
昭和62年に開館した文化センターも30年以上経過し、施設の老朽化が進むとともに、機械設備や舞台設備等の多くが機器の更新時期にも達していることから、計画的に整備する必要があります。多賀城創建1300年を迎えるに当たって文化交流拠点として、また、災害時の避難所としての機能強化を図ることが求められています。	大規模改修計画に先立ち、大ホール側の施設設備等を中心とした改修、更新を行います。 令和3年8月 改修設計業務委託 令和4年5月 改修工事開始
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（04年度の取り組み）
文化センター（施設・設備）	○文化センター改修工事 大ホール客席床全面張替及び壁の一部改修、親子観覧席及び授乳室増設、舞台機構及び照明設備の一部更新、楽屋・練習室等の空調設備改修、ホワイエ改修、全トイレの洋式化、空調システム交換、防犯カメラ改修、Wi-Fi環境整備、外構の一部整備等
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	【地方創生推進交付金 国1/2、地方創生拠点整備交付金 国1/2、教育施設及び文化施設管理基金繰入金、東日本大震災復興基金繰入金、緊急防災・減災事業債 充当率100%、社会教育施設整備事業債 充当率90%】

○指標、事業費の推移

区分	指標名	単位	02年度 実績	03年度 現計	04年度 計画	05年度 計画	06年度 計画
対象 指標	A 文化センター	施設		1	1		
	B						
活動 指標	C 業務委託・修繕件数	件		1	2		
	D 工事件数	件		0	2		
	E						
	F						
付記事項		合計	千円	7,898	1,681,672		
		国支出金	千円	3,949	219,919		
		県支出金	千円				
		地方債	千円	3,500	767,300		
		その他	千円	449	694,453		
		一般財源	千円				
		正職員人工数	人工				
		正職員人件費	千円				
		トータルコスト	千円	7,898	1,681,672		

市立図書館管理運営事業

担当部 教育委員会事務局
担当課 生涯学習課
担当係 生涯学習係
総合戦略

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○

会計	01 一般会計	政策	03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり
款	10 教育費	施策	03 生涯学習の促進
項目	04 社会教育費	基本事業	03 生涯学習施設の保全と運営
	02 社会教育振興費		

事務事業の開始背景（根拠）、概要	事務事業の全体計画
昭和53年の開館以来、市直営で管理運営を行ってきました。施設の老朽化、市民に対するサービス向上（民間事業者が有するネットワークやノウハウの活用）へ対応するため、平成28年3月にJR仙石線多賀城駅前に移転開館し、指定管理者制度を導入しました。	平成28年3月 指定管理者管理運営業務開始 【指定管理期間：平成28年3月21日～令和2年3月31日】 令和2年4月 第2期指定管理者管理運営業務開始 【指定管理期間：令和2年4月1日～令和7年3月31日】 令和4年4月 ブックスタートを開始
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（04年度の取り組み）
市民	○指定管理者制度の導入により、民間事業者が有するネットワークやノウハウを活用し、読書活動の推進と施設の適切な維持管理を実施 [指定管理者が行う業務] ・図書館の管理運営に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・図書館の事業及び講座に関する業務 [指定管理者の名称] ・カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 ○3～4か月児健診時に読み聞かせと絵本をプレゼントするブックスタートを実施 【ふるさと多賀城応援基金繰入金】
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
図書館が多くの子どもの知との出会いの場として利用できる環境が調えられることにより、地域社会で豊かに生きていくための学びを得て、夢や希望を持つことができます。	

○指標、事業費の推移

区分	指標名	単位	02年度 実績	03年度 現計	04年度 計画	05年度 計画	06年度 計画
対象指標	A 多賀城市人口（共通指標）	人	62,154	—	—	—	—
	B						
活動指標	C 開館日数	日		365	365	365	365
	D 事業及び講座の開催回数	回		130	224	224	224
	E						
	F						
付記事項		合計	千円	308,016	316,777	316,777	316,777
		国支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円		989	20	20
		一般財源	千円	308,016	315,788	316,757	316,757
		正職員人工数	人工				
		正職員人件費	千円				
		トータルコスト	千円	308,016	316,777	316,777	316,777

特別史跡多賀城跡復元整備事業

担当部 教育委員会事務局
担当課 文化財課
担当係 文化財係
総合戦略

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○

会計 01 一般会計
款 10 教育費
項 04 社会教育費
目 04 文化財保護費

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり
施策 05 文化財の保護と活用
基本事業 02 文化財の活用促進

事務事業の開始背景（根拠）、概要	事務事業の全体計画
多賀城創建1300年を迎える令和6年に向けて多賀城南門等の復元を行います。	平成29・30年度 周辺整備等の検討及び実施設計、多賀城南門及び周辺地区整備・活用基本方針策定 平成31～令和5年度 地形修復造成工事、南門復元工事、築地塀復元工事、政庁北端部地区整備 令和6年度 供用開始
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（04年度の取り組み）
特別史跡多賀城跡附寺跡	・南門復元工事 ・多賀城南門周辺地形修復実施設計業務 ・ガイダンス施設建設実施設計業務 ・普及啓発事業（記録映像製作業務等）の実施 ・復元検討委員会の開催
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
多賀城南門等が復元されることにより、多賀城ならではの個性となり、人々の交流が促され、市民の誇りの拠り所であるとともに多賀城らしい魅力の発信拠点となっています。	【歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業 国1/2】 【文化財整備活用事業債 充当率90%】【東日本大震災復興基金繰入金】【多賀城南門等復元事業等基金繰入金】

○指標、事業費の推移

区分		指標名	単位	02年度 実績	03年度 現計	04年度 計画	05年度 計画	06年度 計画
対象 指標	A	特別史跡多賀城跡附寺跡面積	ha		107.68	107.68	107.68	107.68
	B							
活動 指標	C	検討委員会議の開催回数	回		2	2	2	0
	D	事業進捗率	%		63.89	88.24	100	100
	E							
	F							
付記事項			合計	千円	373,527	178,556	687,000	2,179
			国支出金	千円	183,554	86,067	343,000	
			県支出金	千円				
			地方債	千円	163,900	77,400	309,600	
			その他	千円	26,073	15,089	34,400	2,179
			一般財源	千円				
			正職員人工数	人工				
			正職員人件費	千円				
			トータルコスト	千円	373,527	178,556	687,000	2,179

歴史遺産保全・発信事業

担当部 教育委員会事務局
 担当課 埋蔵文化財調査センター
 担当係 埋蔵文化財調査センター
 総合戦略

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○

会計	01 一般会計	政 策	03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり
款	10 教育費	策	05 文化財の保護と活用
項	04 社会教育費	基本事業	03 文化財の普及啓発
目	06 埋蔵文化財調査センター費		

事務事業の開始背景（根拠）、概要	事務事業の全体計画
多賀城市の歴史、文化財に対する関心を高め、歴史資産を適切に後世に伝えるために、これまで行ってきた様々な調査をいかし、常設展示や歴史講座の開催、刊行物の作成を行います。	昭和62～平成13年度 多賀城市の通史を展示 平成2年度 講座事業開始 平成14年度 東北歴史博物館との役割分担を意識し、常設展示を「古代都市多賀城」に特化したテーマ展示に転換 平成19年度 埋蔵文化財調査センター体験館(多賀城史遊館)を開館し、体験学習を開始 令和3～6年度 多賀城創建1300年に向けての連続企画展を実施
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（04年度の取り組み）
市内の歴史遺産、市民、多賀城市の歴史に関心のある方	・多賀城創建1300年に向けての令和3年度から続く連続企画として企画展を開催 ・史跡指定100周年記念として特別展を開催 ・速報展及び資料展を開催 ・歴史講座(全5回)を開催 ・多賀城史遊館で通常の歴史体験に加え、歴史関連のイベントを開催 ・今までの歴史遺産調査の成果をもとに、文化財保全活用団体設置に向けた調整を開始
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
地域と行政が一体となって、文化財が適切に保存管理され、文化財の普及・啓発がなされることにより、人と人との温かな輪の中で、本市の悠久の歴史が紐解かれ、観光や産業振興等の礎として新たな価値が生まれ、多賀城らしい魅力を創ることができています。	【国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 国1/2、ふるさと多賀城応援基金繰入金、町誌・市史等売金、体験学習材料代等実費徴収金、イベント参加者保険料】

○指標、事業費の推移

区分		指標名	単位	02年度 実績	03年度 現計	04年度 計画	05年度 計画	06年度 計画
対象 指標	A	多賀城市人口(共通指標)	人	62,154	—	—	—	—
	B							
活動 指標	C	展示室の開館日数	日		301	301	301	301
	D	体験館の開館日数	日		301	301	301	301
	E	展示室の入館者数(年間)	人		4,000	5,000	5,000	5,000
	F	体験館の入館者数(年間)	人		6,000	6,000	6,000	6,000
付記事項			合計	千円	9,868	4,045	4,045	4,045
			国支出金	千円	1,308	1,303	1,303	1,303
			県支出金	千円				
			地 方 債	千円				
			そ の 他	千円	8,560	1,238	426	426
			一般財源	千円		1,504	2,316	2,316
			正職員人工数	人工				
			正職員人件費	千円				
			トータルコスト	千円	9,868	4,045	4,045	4,045

特別史跡多賀城跡附寺跡保存活用計画策定事業

担当部 教育委員会事務局
 担当課 文化財課
 担当係 文化財係
 総合戦略

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○

会計	01 一般会計	政策	03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり
款	10 教育費	策	05 文化財の保護と活用
項	04 社会教育費	施	99 施策の総合推進
目	04 文化財保護費	基本事業	

事務事業の開始背景（根拠）、概要	事務事業の全体計画
特別史跡多賀城跡附寺跡が、文化的価値が保存され、地域住民と共存・共栄しながら、市民が親しみ、利用できる場所となることを目指し、適正な管理・活用の指針となる計画として、「特別史跡多賀城跡附寺跡保存管理計画」をこれまで第3次にわたり策定してきました。 第3次計画が計画満了を迎えることから、次期計画の策定を進めています。	[特別史跡多賀城跡附寺跡保存管理計画] ・第1次計画期間 S51～S62 ・第2次計画期間 S63～H22 ・第3次計画期間 H23～R4 [特別史跡多賀城跡附寺跡保存活用計画] - R2～R4 計画策定 - R5～ 計画運用
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（04年度の取り組み）
特別史跡多賀城跡附寺跡保存活用計画	・保存活用計画策定委員会の開催 ・有識者、市民団体、市民による委員会 ・市川地区住民アンケートの実施 ・市川地区まちづくり会議の開催
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
特別史跡多賀城跡附寺跡の保存・活用等の取組に係る基本的事項を計画に定め、計画を推進することにより、特別史跡を活用した多賀城らしい魅力が発信されるとともに、本市固有の歴史文化を次代に引き継ぐことができます。	

○指標、事業費の推移

区分		指標名	単位	02年度 実績	03年度 現計	04年度 計画	05年度 計画	06年度 計画		
対象 指標	A	特別史跡多賀城跡附寺跡面積	ha		107.68	107.68				
	B									
活動 指標	C	委員会開催回数	回		3	1				
	D	計画策定数	本		—	1				
	E									
	F									
付記事項					1,469	544				
			事業費	合計	千円					
				国支出金	千円					
				県支出金	千円					
				地 方 債	千円					
				そ の 他	千円					
			一般財源	千円		1,469	544			
			正職員人工数	人工						
			正職員人件費	千円						
					1,469	544				